

お知らせ

慢性肝疾患関連遺伝子研究へ参加いただいた患者さんへ

平成14年2月1日から平成26年6月30日までに広島大学病院にて「慢性肝疾患関連遺伝子研究」へ参加いただいた患者さんが対象です。

時代の進歩に伴い、本研究では、次世代シーケンサーを用いて全ゲノムの解析を行うことになりました。全ゲノム解析とは、提供していただいた試料を用いてゲノム全体の塩基配列を調べることです。超高速に塩基配列情報を得ることができる次世代シーケンサーと呼ばれる装置を用いることで、一度にほぼすべてのゲノムの塩基配列を調べるのが可能になりました。これにより、ゲノム全体から病気の原因となる遺伝子を探っていきます。

ただし、全ゲノムを調べるため、この研究で目的とする慢性肝疾患と関連する遺伝子変異が明らかになるだけでなく、今はまだ罹っていない別の疾患を引き起こす遺伝子の異常が偶然に判ってしまうこともあります。したがって、遺伝情報の漏洩がおきた場合、就職や結婚、妊娠、保険における不利益など倫理的、社会的問題の生じる可能性があります。さらに将来、この解析データが個人を特定しうるものになる可能性も否定はできません。

このため、本研究により得られたデータが外部に漏洩することのないよう、格段の配慮を行います。また、今回得られた解析結果は本研究にのみ使用し、他の研究には使いません。ただし、提供者の同意が得られる場合には、慢性肝疾患に関連した他の研究などに利用させていただきます。その場合には、改めて倫理委員会の承認を受けた上で使用します。

上記内容に同意されない場合、あるいはもっと詳しく知りたいときや、わからないこと、心配なことがありましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。

同意されない場合でも、その後の診療に不利益を受けることは、一切ありません。

広島大学病院 電話：082-257-5190

研究責任者：消化器・代謝内科 教授 氏名 茶山 一彰

研究分担者：臨床研究部 講師 氏名 川上 由育